

## 女川町復興まちづくり住民説明会（黄金） 議事録

日 時：平成24年2月17日（金） 18:30 ～ 20:30

場 所：総体柔道場

対象者：黄金、西、南全区

出席者：女川町 須田町長

復興対策室 赤間室長、柳沼参事、西尾係長、鑑氏、木村主査、神山事務員  
水産課長、建設課長、税務課長、町民課久坂

### 1.挨拶 須田町長

### 2.資料説明：復興対策室

- ①基本的な考え方
- ②断面図（案）
- ③高台移転候補地（案）
- ④まちづくりのスケジュール（案）
- ⑤具体的復興事業の概要
  - ・災害公営住宅整備事業
  - ・防災集団移転促進事業
  - ・漁業集落防災機能強化事業
- ⑥防災集団移転促進事業による移転者の再建収支試算（想定）

### 3.意見交換（Q；住民、A；町役場）

- Q. 高台に移転し、低地に商業地を形成すると買い物が不便になるのではないかと。足の確保はどうするのか。
- A. 高台での店舗兼住宅は建設可能。商業施設の集約は、事業再開の設備投資を軽減する。集約することでにぎわいと活力を作り出したい。観光ゾーンにもなるという考えがある。
- Q. 南区、黄金区、西区は、水に浸かっている。浸水地域をすべて町が買いとる予定か。角浜に居住していた人の土地はどうなるのか
- A. 防災集団移転・土地区画整理事業等で買収の対象になる。それぞれの土地がどうなっていくかについては、今後の事業によって決定されていく。
- Q. 盛土の部分は将来どのような形態になるのか。家を建てていい場所になるのか。
- A. 盛土したところは、基本的に住んで大丈夫な土地ということでの造成になる。
- Q. 黄金区で、どの土地が買収の対象になるのかは決まっているのか。
- A. 防災集団移転事業でやることを前提としたならば、住んでいる人は対象になる。住宅以外の土地については、区画整理等の結果による。
- Q. 眺湾荘で、修復して住みはじめた家は、盛土される場合に移転が必要になるのか。
- A. 盛土をするかどうかというのは、今後の測量、設計によって決まる。個別に相談いただきたい。
- Q. 桜ヶ丘周辺で、空いている土地がある。家を建ててもよいのではないかと。
- A. 津波被災地区以外のところについては、建ててもらって構わないことになっている。地権者と、建てたい人で協議をしてもらっていい。
- Q. 桜ヶ丘や眺湾荘の道路も結構傷んでいるが、そういうところはそのままして、空いている土地があったら、建てて構わないということか。
- A. 道路が4メートルなければならぬなど、通常の建築基準はあるが、そういったものがクリアされれば当然建築できる対象の土地になると思う。道路については、災害査定が終わっているので、今後順次直していく。
- Q. 黄金区は、大潮のときは水に浸かってしまう。その土地を使ってもよいのか
- A. 商業用地、店舗、工場の場合は、土地は区画整理により多少は動く可能性があるが、そのまま使用して

もらっていい。

- Q. 災害公営住宅は、地区の人たちが一緒に住めるような考慮をしてほしい。
- A. 町全域が被災していますから早くという方々も多い。地域性を配慮しつつ、公平性も一定程度に配慮しながら進めていくことになると考えている。
- Q. 国道 398 号の旧道は、バイパスに比べて力が入っていないようだが、しっかりと造ってもらいたい。
- A. 今までは中央線も引けないような感じだったが、概ね 17 メートルくらいまで歩道と、車道を確保するくらいの道路幅は造っていきたいと考えている。
- Q. 南区住人。小乗浜高台計画に賛成。ここに、災害公営住宅は予定されているのか。
- A. 全部のところにくまなくという形にはなることは約束できない。むしろ、大まかなこの地区にいくら、という形の整備になっていくのではないかと想定している。
- Q. 西区の住人。住めないということで、がっかりしている。山林の買い占めがあるという噂があり、心配している。
- A. どこかの業者が山を買収しているという動きはないのかという質問だが、今のところそういう話はない。
- Q. 西区は鷺神浜の発祥の地という自負がある。地主がだいぶいるが、売らないといわれたらどうするのか。
- A. 理解してもらうように、努力をするということに尽きると思う。
- Q. 区長は 3 人も 70 を超えている。時間がない。早く復興してもらいたい
- A. なるべく全般的な整備を早くやっていくことが復興ということになる。将来を見通す中で今をどのように早くやっていくかということを中心に考えていきたいと考えている。
- Q. 西区は商業ゾーンになっているが、西区以外に店を出してもよいのか
- A. 土地の問題についていうと、可能。
- Q. 商業再開に対する国の支援に年限がある。その延長措置を国に働きかけてほしい。
- 女川でがんばろうという事業者への支援をお願いしたい。
- A. まず延長してもらいよりも、その予算があるうちにとってしまわなければならないということがある。それ以降の取り扱いについて現状に合わないルールがある。そこは改善してもらい必要があると考えている。
- Q. 漁港を早く整備してもらわないと、企業の復興ができない。それはどう考えているか。
- A. 町の管理になる桐ヶ崎、出島、江の島、小屋取、高白、高白は港湾地区になるが、そういったところについては早いところでは町の補正予算で半分、拠点漁港といわれるところについては、今年度の補正予算で対応している。ほかの漁港についても当初予算ですぐに対応できるように やっていく。県の事業になるのは、さんま岸壁の周りと石浜岸壁のわきの方すでに発注されている。市場の上屋の目の前については 3 月の発注と当初予算の中で整備される。
- Q. 西区の住民。盛土計画地に住んでいた人が、高台に移転したい場合、土地は買い上げてもらえるのか。
- A. 高台に行ったときに買い上げるのかという時に、今の事業制度では難しいが、今後いろんなもので対応できるようなことで検討していく。すべて買い上げるというのまでは、いまのところ約束できない。
- Q. 造成してしまったあと、A' エリアに住む人が 1 割しかいないという結果になった場合、どうするのか
- A. 入念に施工管理を徹底しながら工事の方を進め、安全な居住地を目指していく。
- Q. 眺湾荘の上、あそこの間の山は等高線も低くて、削れないか。
- A. なんで選んだかというのは、早そうだからという理由が一番あったのだと思う。造成しやすいから。なぜ外れたかというのは、経過をいま応えられないので、あとで確認する。
- Q. メイン道路は残るのか。
- A. 残る方向で考えている。

以上